



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名 古河機械金属株式会社
コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相馬 信義
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 岩田 穂

TEL 03-3212-7021

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	83,291	12.3	1,347	351.9	337	—	△113	—
24年3月期第2四半期	74,156	△9.0	298	14.3	△345	—	△3,259	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △2,104百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △2,975百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△0.28	—
24年3月期第2四半期	△8.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
25年3月期第2四半期	186,583	—	45,558	—	23.5	—
24年3月期	193,971	—	47,668	—	23.7	—

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 43,858百万円 24年3月期 46,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年3月期の期末の配当については未定であり、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定としております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,000	4.1	3,000	39.2	1,500	18.2	1,000	—	2.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正につきましては、本日(平成24年11月7日)公表いたしました「業績予想値と実績値との差異および連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	404,455,680 株	24年3月期	404,455,680 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	315,359 株	24年3月期	313,540 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	404,140,964 株	24年3月期2Q	404,148,720 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算説明会終了後、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	12
平成25年3月期 第2四半期決算短信 補足資料	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～同年9月30日）の我が国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景とする景気回復の動きが見られましたが、中国をはじめとする世界経済のさらなる下振れにより景気が下押しされるリスクを抱えながら推移いたしました。

このような経済状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、主として、金属部門、ユニック部門および産業機械部門の増収により832億91百万円（対前年同期比91億34百万円増）、営業利益は、主としてユニック部門、塗料部門および産業機械部門の増益で、13億47百万円（対前年同期比10億49百万円増）となりました。経常利益は3億37百万円（前年同期は3億45百万円の損失）となりました。特別利益に受取補償金4億60百万円、特別損失に減損損失3億31百万円、投資有価証券評価損2億89百万円他を計上した結果、四半期純損失は1億13百万円（対前年同期比31億46百万円の損失減）となりました。

当第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの業績の概況は次のとおりであります。

[産業機械]

環境機器、一般産業機械および橋梁等、全般的に売上を伸ばすことができました。産業機械部門の売上高は62億97百万円（対前年同期比13億11百万円増）、営業利益は1億79百万円（前年同期は87百万円の損失）となりました。

[開発機械]

国内向けは復興需要によりブレーカが増収となりました。海外向けは北米および南米向けが増収となりましたが、中国の景気減速の影響を受けたアジア諸国向けが大きく減少しました。開発機械部門の売上高は116億77百万円（対前年同期比10億91百万円減）、営業利益は33百万円（対前年同期比92百万円減）となりました。

[ユニック]

国内普通トラックの登録台数は、復興需要やエコカー減税・補助金により対前年同期比34%増となり、ユニッククレーンの売上も順調に伸ばすことができました。また、ユニックキャリアも旺盛な需要を背景に好調で、需要掘り起こしに努めてきたミニ・クローラクレーンや船舶架装用クレーンも増収となりました。ユニック部門の売上高は100億89百万円（対前年同期比28億55百万円増）、営業利益は10億38百万円（対前年同期比8億64百万円増）となりました。

産業機械、開発機械およびユニックの機械3部門の合計売上高は280億64百万円（対前年同期比30億76百万円増）、営業利益は12億52百万円（対前年同期比10億38百万円増）となりました。

[金 属]

電気銅の海外相場は、8,480米ドル/トンでスタートし、米国の追加金融緩和への期待から4月30日には上期最高値の8,529.5米ドル/トンとなりました。その後、欧州債務危機問題の再燃により続落し、7月から8月にかけては7,300～7,800米ドル/トンの圏内で推移しました。9月には、欧州中央銀行による国債購入や米連邦準備制度理事会の量的緩和第3弾導入が好感され、8,267.5米ドル/トンで9月の取引を終えました。国内建値は4月に75万円/トンで始まり、期末には69万円/トンとなりました。前年同期は震災被災による減産がありましたが、当期の電気銅の販売量は大きく増加しました。金属部門の売上高は375億59百万円（対前年同期比61億22百万円増）、営業損失は1億3百万円（前年同期は89百万円の利益）となりました。

[電 子]

コイル製品は車載向け等を中心に売上を伸ばすことができましたが、主力製品である高純度金属ヒ素は半導体市況の低迷に加え、原発事故の風評被害のため、輸出の苦戦と国内価格の下落が続きました。電子部門の売上高は27億63百万円（対前年同期比2億42百万円増）、営業損失は38百万円（対前年同期比29百万円の損失増）となりました。

[化成品]

亜酸化銅は船底塗料の需要の低迷により減収となりましたが、硫酸は値上の効果で採算が改善しました。化成品部門の売上高は25億55百万円（対前年同期比1億23百万円減）、営業利益は1億60百万円（対前年同期比33百万円増）となりました。

[塗料]

工業用では電子部品向け高機能塗料や環境配慮型塗料の売上が堅調で、汎用でも水系塗料等が順調に売上を伸ばすことができました。塗料部門の売上高は76億64百万円（対前年同期比2億20百万円増）、営業利益は75百万円（前年同期は1億99百万円の損失）となりました。

[不動産]

賃貸ビルの主力である大阪地区のオフィスビルの空室率は依然高く、減収となりました。不動産部門の売上高は5億33百万円（対前年同期比1億1百万円減）、営業利益は1億21百万円（対前年同期比77百万円減）となりました。なお、東京での日本橋室町東地区開発プロジェクトは順調に進んでおります。

[燃料]

販売数量の減少および販売単価の低下により減収となりました。燃料部門の売上高は37億70百万円（対前年同期比2億91百万円減）、営業損失は28百万円（対前年同期比5百万円の損失増）となりました。

[その他]

当社グループの運輸事業を主に行っております。売上高は3億80百万円（対前年同期比11百万円減）、営業損失は45百万円（対前年同期比18百万円の損失減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,865億83百万円で前連結会計年度末に比べて73億87百万円減少しました。これは主として、受取手形及び売掛金と、上場株式の株価下落による投資有価証券の減によるものであります。負債合計は1,410億25百万円で、前連結会計年度末に比べ52億77百万円減少しました。これは主として支払手形及び買掛金の減少によるものであります。有利子負債（借入金）の当第2四半期連結会計期間末残高は859億32百万円で前連結会計年度末に比べ1億36百万円の増となりました。純資産は455億58百万円で、その他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末に比べ21億10百万円の減となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは主としてたな卸資産および売上債権の減少により31億28百万円の純収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出等により5億15百万円の純支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは41百万円の純支出となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は前連結会計年度末に比べ25億92百万円増加し、167億46百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、前回（平成24年5月11日）発表の業績予想における前提は第3・第4四半期で銅価を8,000米ドル/トン、為替を77円/米ドルとしておりましたが、直近の状況を考慮して、銅価を7,800米ドル/トン、為替を79円/米ドルに変更いたしました。売上高につきましては、ユニック部門は国内向けが引き続き好調ではありますが、連結子会社として燃料事業を行っていた古河コマース(株)の全株式を平成24年10月1日に譲渡した（「重要な後発事象」をご参照願います。）ことにより、燃料部門が対前回発表予想減収となり、また、海外向けが苦戦している開発機械部門の売上高を見直した結果、売上高を下方修正いたしました。営業利益は、主として開発機械部門およびユニック部門で見直しを行いました。全体としては前回発表通りとし、経常利益、当期純利益とも前回発表通りとしております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,156	17,050
受取手形及び売掛金	29,686	27,240
有価証券	49	49
商品及び製品	12,526	12,815
仕掛品	6,399	6,851
原材料及び貯蔵品	11,882	8,355
その他	6,915	6,469
貸倒引当金	△118	△124
流動資産合計	81,498	78,709
固定資産		
有形固定資産		
土地	58,653	58,433
その他（純額）	26,432	25,701
有形固定資産合計	85,085	84,134
無形固定資産		
のれん	437	416
その他	210	189
無形固定資産合計	647	605
投資その他の資産		
投資有価証券	23,146	19,996
その他	5,142	4,670
貸倒引当金	△1,548	△1,531
投資その他の資産合計	26,740	23,134
固定資産合計	112,473	107,874
資産合計	193,971	186,583
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,022	23,857
短期借入金	30,938	31,204
未払法人税等	458	543
引当金	222	260
その他	17,165	14,113
流動負債合計	74,807	69,979
固定負債		
長期借入金	54,857	54,727
引当金	1,878	1,941
資産除去債務	196	198
その他	14,563	14,179
固定負債合計	71,495	71,046
負債合計	146,303	141,025

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	15,705	15,491
自己株式	△46	△46
株主資本合計	43,866	43,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,161	△335
繰延ヘッジ損益	△190	160
土地再評価差額金	3,577	3,678
為替換算調整勘定	△3,393	△3,298
その他の包括利益累計額合計	2,155	205
新株予約権	53	53
少数株主持分	1,593	1,646
純資産合計	47,668	45,558
負債純資産合計	193,971	186,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	74,156	83,291
売上原価	65,156	72,987
売上総利益	9,000	10,303
販売費及び一般管理費	8,702	8,956
営業利益	298	1,347
営業外収益		
受取配当金	208	169
その他	417	219
営業外収益合計	626	388
営業外費用		
支払利息	706	652
その他	563	746
営業外費用合計	1,269	1,398
経常利益又は経常損失 (△)	△345	337
特別利益		
受取補償金	—	460
負ののれん発生益	8	—
その他	9	7
特別利益合計	17	468
特別損失		
減損損失	100	331
投資有価証券評価損	3,236	289
その他	189	9
特別損失合計	3,526	630
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△3,853	175
法人税、住民税及び事業税	163	625
法人税等調整額	△549	△408
法人税等合計	△386	217
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△3,467	△41
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△207	71
四半期純損失 (△)	△3,259	△113

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,467	△41
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	467	△2,514
繰延ヘッジ損益	40	365
為替換算調整勘定	△82	82
持分法適用会社に対する持分相当額	67	3
その他の包括利益合計	492	△2,062
四半期包括利益	△2,975	△2,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,790	△2,163
少数株主に係る四半期包括利益	△184	59

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,853	175
減価償却費	1,662	1,495
減損損失	100	331
投資有価証券評価損	3,236	289
受取補償金	—	△460
退職給付引当金の増減額(△は減少)	569	665
受取利息及び受取配当金	△245	△210
支払利息	706	652
売上債権の増減額(△は増加)	1,272	2,487
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,946	2,916
仕入債務の増減額(△は減少)	225	△2,439
その他	△751	△2,573
小計	976	3,328
利息及び配当金の受取額	287	253
利息の支払額	△703	△656
法人税等の支払額	△496	△550
法人税等の還付額	353	291
補償金の受取額	—	460
営業活動によるキャッシュ・フロー	418	3,128
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△300
有形固定資産の取得による支出	△1,096	△919
有形固定資産の売却による収入	447	164
投資有価証券の償還による収入	—	500
その他	99	39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△548	△515
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,989	5,949
短期借入金の返済による支出	△5,945	△5,941
長期借入れによる収入	6,500	9,100
長期借入金の返済による支出	△8,340	△8,971
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△148	△171
その他	△6	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,952	△41
現金及び現金同等物に係る換算差額	51	21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,030	2,592
現金及び現金同等物の期首残高	16,271	14,154
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,240	16,746

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品	塗料
売上高							
外部顧客への売上高	4,985	12,768	7,233	31,436	2,521	2,678	7,443
セグメント間の 内部売上高又は振替高	710	18	33	281	4	416	6
計	5,695	12,787	7,266	31,717	2,525	3,095	7,450
セグメント利益又は損失 (△)	△87	126	174	89	△9	127	△199

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	燃料	計				
売上高							
外部顧客への売上高	634	4,061	73,764	392	74,156	—	74,156
セグメント間の 内部売上高又は振替高	67	169	1,708	631	2,339	△2,339	—
計	702	4,231	75,472	1,023	76,496	△2,339	74,156
セグメント利益又は損失 (△)	198	△22	398	△63	334	△36	298

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△36百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△42百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品	塗料
売上高							
外部顧客への売上高	6,297	11,677	10,089	37,559	2,763	2,555	7,664
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,246	16	41	242	4	445	30
計	7,543	11,694	10,130	37,801	2,768	3,000	7,694
セグメント利益又は損失 (△)	179	33	1,038	△103	△38	160	75

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	燃料	計				
売上高							
外部顧客への売上高	533	3,770	82,910	380	83,291	—	83,291
セグメント間の 内部売上高又は振替高	70	163	2,261	676	2,938	△2,938	—
計	604	3,934	85,172	1,057	86,229	△2,938	83,291
セグメント利益又は損失 (△)	121	△28	1,439	△45	1,394	△46	1,347

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△46百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△44百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 重要な後発事象

当社は連結子会社である古河コマース㈱の全株式を平成24年10月1日に㈱宇佐美鉱油へ譲渡いたしました。これは平成24年8月29日開催の当社取締役会決議及び同年8月30日締結の株式譲渡契約に基づくものであります。

一 事業分離の概要

1. 分離先企業の名称及び分離する事業の内容

分離先企業の名称 ㈱宇佐美鉱油

分離する事業の内容 燃料事業

2. 事業分離を行う主な理由

古河コマース㈱は平成22年10月に事業を石油製品の販売に特化し、収益の確保に努めてまいりましたが、業績は厳しい状況が続いておりました。業界再編も進む厳しい現況下では古河コマース㈱の業績の大きな改善は期待できないことから、燃料事業から撤退して経営資源を機械、金属、電子等の事業に集中するべきと判断し、古河コマース㈱の全株式を㈱宇佐美鉱油に譲渡することを決定したものであります。

3. 事業分離日

平成24年10月1日

4. 事業分離の概要（法的形式を含む）

受取対価を現金のみとする株式譲渡

二 第3四半期連結累計期間で実施する会計処理の概要

1. 子会社株式売却益の金額（概算） 63百万円

2. 移転する事業に係る適正な帳簿価額並びにその主な内容

流動資産 1,188百万円

固定資産 239

資産合計 1,427

流動負債 1,123

固定負債 75

負債合計 1,199

三 分離する事業が含まれている報告セグメントの名称

燃料セグメント

四 当第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に計上されている分離する事業に係る損益の概算

売上高 3,770百万円

営業損失 28

金属前提

		今回予想	対前年同期増減
銅価	第2四半期累計決算 \$/mt	7,791	△ 1,279
	第3~4四半期累計予想 \$/mt	7,800	△ 100
	年度予想 \$/mt	7,796	△ 689
為替	第2四半期累計決算 円/\$	79.4	△ 0.4
	第3~4四半期累計予想 円/\$	79.0	0.6
	年度予想 円/\$	79.2	0.1

平成25年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

2012年11月7日

古河機械金属株式会社

〔売上高〕

(単位:百万円 単位未満切捨)

	平成24年3月期	平成25年3月期	対前年同期増減
	第2四半期累計期間	第2四半期累計期間	
機械部門	24,987	28,064	3,076
（産業機械）	(4,985)	(6,297)	(1,311)
（開発機械）	(12,768)	(11,677)	(△ 1,091)
（ユニック）	(7,233)	(10,089)	(2,855)
金属部門	31,436	37,559	6,122
電子部門	2,521	2,763	242
化成品部門	2,678	2,555	△ 123
塗料部門	7,443	7,664	220
不動産部門	634	533	△ 101
燃料部門	4,061	3,770	△ 291
その他	392	380	△ 11
【合計】	74,156	83,291	9,134

平成25年3月期	
年度予想	対前年増減
57,400	4,201
(14,100)	(1,150)
(23,600)	(△ 543)
(19,700)	(3,594)
74,000	5,885
6,200	1,584
5,400	212
15,200	325
1,000	△ 233
3,800	△ 5,776
1,000	233
164,000	6,433

〔営業利益〕

	平成24年3月期	平成25年3月期	対前年同期増減
	第2四半期累計期間	第2四半期累計期間	
機械部門	213	1,252	1,038
（産業機械）	(△ 87)	(179)	(267)
（開発機械）	(126)	(33)	(△ 92)
（ユニック）	(174)	(1,038)	(864)
金属部門	89	△ 103	△ 193
電子部門	△ 9	△ 38	△ 29
化成品部門	127	160	33
塗料部門	△ 199	75	274
不動産部門	198	121	△ 77
燃料部門	△ 22	△ 28	△ 5
その他	△ 63	△ 45	18
（計）	334	1,394	1,059
調整額	△ 36	△ 46	△ 10
【合計】	298	1,347	1,049

平成25年3月期	
年度予想	対前年増減
2,650	679
(850)	(141)
(100)	(△ 233)
(1,700)	(771)
△ 150	△ 458
150	384
350	98
30	359
170	△ 186
△ 30	△ 16
△ 75	18
3,095	879
△ 95	△ 34
3,000	845